

木田市長の



vol.71

漁業者決起大会に参加して

去る9月10日、三重水産協
議会が主催する県漁業者決起
大会がサンアリーナで開催さ
れました。会場は3千人の漁
業関係者、知事、国会議員、
それに18人の県会議員など、
多くの参加者の熱気で一杯と
なりました。現在、漁業は大
変な時期を迎えています。漁
価の低迷、漁獲高の低下、原
発事故による風評被害などの
苦境に加え、来年4月からは
漁に使う軽油の免税措置がな
くなって、燃油が大幅に値上
がりしてしまう状況となりま
す。このようなことでは漁業
をやめてしまう人が多く出る
というところで、燃料の免税恒
久化を要求して決起大会とな
ったわけです。

は、「ガソリン値下げし隊」な
どと称して、1か月間ですが
無理矢理ガソリンを値下げさ
せたことがあります。今で
は、値下げできる立場になっ
たのに値下げはしない。逆に
漁業や農業に使う軽油を値上
げするというのでは何をか言
わんやであります。最近では、
日本の国民は若者も含めて、
大変おとなしくなつたと感じ
ています。昔はもつとデモな
ども行われていたように思い
ますし、学生運動も盛んでし
た。大学のわたしの1年後輩
の男などは、東大の安田講堂
に立てこもり、機動隊により
逮捕されました。普段は本
当におとなしい常識的な男で
したが、当時は、彼のように自
分の考えを行動で示そうとい

う気風があったように思われ
ます。
今、日本の国ではワーキン
グプアーと呼ばれる、働いて
も大した収入にならない境遇
の人たちが増えています。さ
らに、働き口がない人たちが
増えている状況となっていま
す。正規の社員になれない若
者たちは、商品を買わない、
旅行をしない、お金を使わな
いというように、ネガティブ
な抵抗運動をインターネット
を通じて広めているというこ
とを聞いたことがあります。
こういう行動が多くなれば、
社会の経済がもつと悪くなっ
てしまい、それがめぐりめ
ぐつて若者たちに、もつとひ
どい形で戻ってくるような気
もします。
デモを推奨するつもりはあ
りませんが、このような消極
的な行動よりも、熱気で社会
を動かそうとするくらいのパ
ワーのある外向きな行動のほ
うがスカツとしているのでは
ないでしょうか。熱気あふれ
る漁業者決起大会に参加して
そのように感じました。ぜひ
とも恒久的な負担軽減が実現
することを望みたいと思いま
す。

子育て安心な地域づくり



ある日の新聞に、「全国の児
童相談所に2010年度に寄
せられた児童虐待の相談件数
が5万5512件で、初めて
5万件を超え過去最多に」と
いう記事が掲載（厚労省のま
とめ）されました。
これは、通報を促す啓発活
動の成果ですが、今まであま
りニュースとして取り上げら
れなかったネグレクト（※）
など、こどもへの虐待の発見
数が増えた側面もあると思ひ
ます。しかし、はつきりして
いることは、虐待によって心
身に大きな傷を負い、命さえ
奪われてしまうということが
現に起こっているという事実
です。虐待は、こどもにとつ
て究極の「人権侵害」です。
その背景には、少子高齢化

の進行、生活スタイルの変化、
経済情勢の悪化などが家庭に
おける親子関係や地域社会で
の人間関係を変容させ、特に
経済的・精神的にも余裕がな
くなり、社会的に孤立し、追
い詰められている家庭の多い
ことが指摘されています。
こどもへの虐待について
は、裁判所の許可に基づく家
庭への強制的な立ち入り調査
（平成20年4月、改正「児童虐
待防止法」）もできるようなに
なりましたが、こどもを保護す
る児童福祉施設などの予算を
含めた組織体制のことや、こ
どもを親元に返した後も再発
する事例も報告されています。
本市においても相談窓口と
して、子育て支援室や子育て
支援センターを設置していま
すが、子育て中の保護者が、
市内各地域の中で孤立するこ
となく、安心して育児ができ
る、より充実したコミュニ
ティづくりは、人権文化の構
築のためには大切な要素では
ないでしょうか。
※ネグレクト (neglect) と
は、保護者などがこどもに対
して、必要な世話や配慮を怠
ることを指す。児童虐待のひ
とつ。育児放棄ともいう。